

産業建設 常任委員会

本会議から当委員会に付託された案件は、議案八件、陳情三件、継続審査の陳情三件の合計十三件である。

農業総務費

問 一般農業総務費の内容は。

答 農水省主催の「豊かな村づくり全国表彰事業」でNPO法人の「田沢湖ふるさとふれあい協議会」が東北ふれあい局長賞を受賞した。

表彰式の職員同行費である。

農業振興費

問 農業夢プラン応援事業の来年度県補助の見込みに関する情報はないか。

答 県、農林政策課の二十年度の県財政方針が示され農林関係の説明があった。そ

れによると、県単事業は、農業に限らずトータルで三十%の削減目標を立てているようだ。

農林水産部の事業については今年から始まった農政改革の関連もあり、各市町村から強い要望もあるというところで、三十%より圧縮する方針で県の財政関係と協議中であるとの説明をもらっている。

農地費

問 アグリフォレスト事業の事業内容と、今後の計画は。

答 間伐材を利用し、導水路等の保全整備に対して支援する事業である。

この事業は今年度で終了であるが、大船地区については五年間の県営治山事業が今年度から入っている。その一部がアグリフォレスト事業にかかわっている。

観光費

問 駐車場管理費百二十四万円の内容は。

答 抱き返り臨時駐車場の管理運営費で、賃金、駐車券印刷料、トイレ汲み取り料、警備保障委託料、補修用砕石代である。

街路事業費

問 予算の組替えであるが事業内容は。

答 主に角館駅東地区道路の軟弱地盤対策にかかる需要費。

駅東・南北線の交差点改良に伴う建物の調査、用地測量関係、土地の鑑定評価。外町交流広場設計業務委託等である。

問 駅東中央線の道路工事で大量の盛土をしているが今後どのような工法で工事を進めていくのか。

答 今回の工事はあくまで軟弱地盤対策工事と捕らえて欲しい。軟弱地盤層の厚さは少ないところで十三m、多

いところでは二十三mほどがヘッドロに近い状態になっている。

工事費をできるだけ抑える方法として上から盛土で負荷をかけ水抜きをしたところから、土壌が落ち着いたところで工事を進めていきたい。

現在の状況は、場所により異なるが十八cmから八十五cm沈下している。コンサル会社の推計では最大一、五mほど沈下する場所もあるとのこと。

問 N T T跡地に計画されている外町交流広場の用地買収を含めた全体の方向性が見えてこないが進捗状況

は。答 予算は基本的に変わっていない。事業の概略は建物、広場の整備、跡地の通り抜け通路を含めた整備である。

実施設計が出来れば全体の需用費が見えてくるのでその時点で委員会に報告し、資料を示しながら協議願いたい。

変更許認可を受けて事業が進まない理由は、敷地内タンクの移動について現所有者と委託業者の問題であるが、解決しなければ契約が出来なかったためである。近く買収予定。



県から市へ移管された抱き返り駐車場



地盤を安定させるための盛られた土砂